

男女共同参画のための PalCato 広報紙

こうとう区報
別冊



2024年10月1日 発行

江東区
総務部人権推進課
(男女共同参画推進センター)

〒135-0011 江東区扇橋3-22-2
☎03-5683-0341 ㊟03-5683-0340

PalCato パルカート

バックナンバーはHPで公開中
年1回発行
No. 50

パルカート2次元コード



※ PalCato 英語のpal (仲間、友だち) にちなんだ【パルシティ江東/Palcity】とイタリア語で1音1音をはっきり演奏することを示す (パルカート) 音楽用語【マルカート/Marcato】をあわせて、一人ひとりの生き方を認め、心豊かな社会を推進する広報紙名としました。

避難所の運営体制・ルールチェックリスト

運営体制	<input type="checkbox"/> 管理責任者には男女両方を配置している <input type="checkbox"/> 自治的な運営組織の役員に女性が3割以上参画している <input type="checkbox"/> 運営組織に、多様な立場の代表が参画している ・介護、介助が必要な人 ・乳幼児がいる家庭の人 ・PTA ・障害者 ・中学生、高校生 ・外国人 (居住者が多い場合)
運営ルール	<input type="checkbox"/> 避難者による食事作り・片付け・清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていない (男女問わずできる人で分担) <input type="checkbox"/> 女性用品 (生理用品、下着等) は女性担当者が配布を行っている。
ニーズ把握	<input type="checkbox"/> 避難者から要望や困りごとを受けられる仕組み体制がある (トイレ等への意見箱の設置) <input type="checkbox"/> 女性や子育て・介護中の家庭の要望や困りごとを積極的に聞き取り、運営に反映させている <input type="checkbox"/> 避難者名簿を作成し情報管理が徹底されている。 (氏名、年齢、性別、健康状態、保育や介護を要する状況、避難場所、在宅・車中泊、外部からの問い合わせに対する情報の開示/非開示の可否) <input type="checkbox"/> 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談が実施されている

内閣府「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」チェックリストより抜粋

2016年の熊本地震

性別で役割分担していませんか？

今年一月に発生した能登半島沖地震をはじめとしたこれまでの災害の経験から、男女共同参画の視点に立った防災の取り組みが重要視されています。いつ起こるかかわからない災害に備えて、地域で、みんなで共に支えあう「男女共同参画」の視点で考えてみましょう。

性別ではなく、個性や年齢、障害の有無、外国人などさまざまな困難を抱えている人たちが、災害発生時には、すべての人が協力しなければなりません。日ごろから、性別ではなく、個性や

では、責任ある仕事は男性に集中して心身が疲弊し、一方では終わらぬ食事作りを女性が担い、男女相互に無理を強いられる場面が見られたそうです(※)。「男性だから避難所の運営が得意」など、性別による偏りがあることが多く見られます。誰にでも得意・不得意があります。災害発生時には、すべての人が協力しなければなりません。日ごろから、性別ではなく、個性や

男女共同参画の視点から考える防災 みんなが安心して災害を乗り越えるために

能力で役割を分担することが大切です。

※熊本市男女共同参画センター「男女共同参画の視点に立った防災ポイントBOOK」

立場による様々な困難

過去の災害時には、様々な困りごとがありました。例えば「着替えや授乳が安心してできない」「女性用品や下着が不足する、もらいづらい」「LGBT等の人がトイレやシャワーを使いづらい」といった声があったといえます。また、「男性とはこうあるべき」という固定観念に縛られ、悩みや弱音を吐きだせず、愚痴を言えないなどの状況に陥ることもあったそうです。

日頃からできること

江東区地域防災計画はこちらからご覧いただけます。



江東区では？

江東区では、区、防災関係機関、区民、事業所が果たすべき責務と役割を「江東区地域防災計画」に定めています。この計画では、女性や子ども、LGBT等のほか、高齢者、障害者、難病患者、外国人等の要配慮者等に対して、きめ細かい配慮を行うことをポイントとして盛り込んでいます。

ほかにも、女性や子ども、高齢者、障害がある外国人などさまざまな困りごとがあります。多様な視点で、それぞれのニーズの違いを踏まえた災害対応を行うことが重要です。

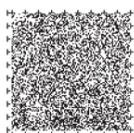
また、災害時に必要なものは立場や世帯構成などによってそれぞれ異なります。いざというときに慌てないよう、「自分にとって」「家族にとって」必要なものを考えて、備えておきましょう。

CONTENTS

- 1面 ◆ 男女共同参画の視点から考える防災
みんなが安心して災害を乗り越えるために
- 2面 ◆ 多様な性について存じますか
江東区DV相談より
- 3面 ◆ 江東のひと・区内企業のワーク・ライフ・バランス
- 4面 ◆ 江東区男女共同参画推進センターNEWS

●●●●●防災チェックリスト●●●●●

- 家具の転倒防止・高い所にものを置かない
- 災害用伝言ダイヤルの使い方を確認
- 簡易・携帯トイレの準備
(5回/日(平均) × 人数分 × 7日分)
- 情報収集手段の確認 (HP・ラジオ等)
- 水と食料の備蓄
家庭では最低でも3日分、できれば1週間分の食料と水 (1人1日3ℓが目安)・生活用品など
- 持病の薬を用意
- 非常用持ち出し品の準備
- 避難所・避難場所等の確認
- 消火器具の設置
- モバイルバッテリーの準備



「パルカート」は「こうとう区報」と一緒にお届けしています

ご家庭・事業所等で配布が必要ない場合や、配布部数の変更を希望される場合は、全戸配布コールセンター (平日および配布日の9:00~19:00) ☎6868-4059へ

読み終わったパルカートは古紙回収へ